

郵政博物館における「郵博特別切手コレクション展」
2018年度 展示団体募集要項

1. 基本原則

展示団体におかれましては、以下の事項を理解しルールを厳守いただくことが申込の前提となりますので予めご了承ください。

(1) この事業の目的

「郵政博物館 特別切手コレクション展」は、「郵博 特別切手コレクション展」（以下、展覧会といいます）と称し、郵政博物館（以下、博物館といいます）の活動内容をより充実させ来場者を増加させることを通じ、公器としての博物館の機能及び来館者満足度を高め、もってわが国におけるフィラテリー振興を図る等広く社会に貢献することを目的とします。

(2) 事業実施に際しての原則

- ① 展覧会は、上記の目的を達成するため、博物館と特定非営利活動法人郵趣振興協会（以下、協会といいます）との共催で実施します。
- ② 協会は、上記目的に適合するよう、公募等により各年度において適切な展示団体（郵趣家、郵趣グループ・サークル等）を選定すると共に、展覧会の円滑な実施を努力します。
- ③ 展覧会会期は土・日曜日の2日間を原則とします。なお初日の前倒しはスケジュールによって可能ですので、希望する場合はご相談ください。
- ④ 展覧会の設営は、会期初日の午前10時から午後1時までの3時間以内を原則とします。会期前日（営業日）の午後（17時30分まで）に設営を行いたい展示団体は、協会に相談することができます。撤去は会期最終日の閉館後1時間30分以内とします。
- ⑤ 展覧会の設営及び撤去には、切手コレクション展示パネル等什器の設置及び撤去収納作業が含まれます。
- ⑥ スケジュールの確定は、原則として当年度の12月末までに、次年度（4月1日から翌年3月末まで）分について行います。
- ⑦ 博物館は、必要な什器備品類の貸出は原則として無償で行いますが、費用負担や人的支援は行いません。
- ⑧ 展覧会開催に際して発生する諸経費は、すべて展示団体自身により賄われるものとし、その内容について、博物館および協会は関知いたしません。
- ⑨ ⑧の費用とは別に、協会が本事業を遂行する際に必要な諸経費（企画・準備および実施に係る物件費・人件費等）については、展示団体が予め納付する展示団体負担金（原則として50,000円）によりこれを支弁します。
- ⑩ 展示団体は、経費捻出や来場者に対するサービスを目的として、展示会場での物販（郵趣品及び関連品）を行うことができます。詳細は予め協会にご相談ください。
- ⑪ 会場となる郵政博物館は、スカイツリータウンに位置しており、博物館としてのセキュリティは夜間も含め十分に保全されています。展覧会開催中の展示物等の保全はすべて展示団体自身の責任において行っていただきます。万一事故があった場合においても、博物館

および協会は一切関知いたしません。作品等への付保が必要な場合は、すべて展示団体の費用負担において行ってください。

(3) 運営上の留意点

- ① 実施イベントは「展示団体による自主運営」を基本とし、(1)事前の設営・展示作業、(2)会期中の来館者説明、(3)撤去作業については、展示団体自らの責任において完結させることを原則とします。
- ② 展示団体には来館者に対しホスピタリティをもって親切丁寧に対応していただきます。
- ③ ワークショップ（研究会）やレセプション（懇親会）など付随的な事業が併催できることが望ましいとされます。
- ④ 展示団体自らが①のプロセスを行うことが困難な場合においては、協会がフォローしますのでご相談下さい（有償による運営スタッフ確保のお手伝い等）。
- ⑤ 展示団体や関係者も博物館への入場は原則として有料です。ただし、イベント開催中の説明要員及び展示・撤去における作業要員となる方には、博物館の判断により数量を限定してスタッフ用カードを交付し、入館料を免除することがあります。
- ⑥ 展示団体は、自らのイベント開催に関し積極的に周知等を行ってください。
- ⑦ 会場内禁煙/飲食厳禁など、博物館が定めたルールを遵守していただきます。

(4) 展示内容について

- ① 「日本のナショナル・ミュージアムである郵政博物館の展示内容として適切であること」が求められます（例：貴重なもの、興味深いもの、美しいもの、楽しいもの等）。内容の当否は、共催者（博物館および協会）が判断します。
- ② 来館者の興味関心をひくものであることが求められます。
- ③ 以下の要件を満たしていることが望ましいとされます。
 - (I) 一定以上の郵趣的評価基準を満たしていること（客観的な裏付け＝例：内外競争切手展受賞歴を有すること等）
 - (II) マスコミの取材対象となりやすいものであること
 - (III) 日本人のみならず外国人にも理解できる対応がとられていること
 - (IV) 青少年の育成に資する施策が含まれていること

(5) その他

- ① 本事業に係る一切の意思決定権は共催者（博物館および協会）に属します。
- ② 共催者の決定に対する異議申し立ては受け付けません。また、共催者はその決定に伴ういかなる賠償責任も負いません。
- ③ 以下の場合は、共催者は出展決定を取消することがあります。
 - (I) 申込内容や共催者に対する説明に虚偽があった場合
 - (II) 展示団体負担金が納付されなかった場合
 - (III) 展示団体による自主運営体制が確立しない恐れがある場合
 - (IV) その他やむを得ない事由が生じた場合
- ④ 共催者（博物館および協会）にとって特に貢献度が高いと判断された展示団体に対し、共催者から感謝状等を贈呈することがあります。

2. 2018年度「郵博 特別切手コレクション展」展示団体募集について

上述の基本原則を踏まえて、2018年度の展示団体を以下の通り募集いたします。

(1) 会場：郵政博物館 多目的スペース

(2) 募集会期：

提出用書類2枚目に候補予定日が記載されています。

展覧会会期は土-日曜日の2日間を原則とします。会期初日を金曜日以前に早めることもスケジュールによって可能です。希望する場合はご相談ください。

(3) 開催時間：

特別切手コレクション展の開催時間は、郵政博物館の開館時間である午前10:00-午後5:30と同一です。なお会期初日の開始時間だけ、設営の為、午後1時とすることができます。最終日も必ず17時30分まで開催し、撤去は閉館後1時間30分以内（遅くとも19時まで）で実施していただきます。

(4) 展示規模・設備：40フレーム（1フレーム16リーフ）を原則とします。

(5) 展示団体負担金：50,000円

特別切手コレクション展の運営に関する実務は、博物館と本事業を共催する協会が担当します。協会は非営利組織ですが、当該事務に要する諸経費相当額として、出展決定後に50,000円の展示団体負担金を申し受けます。

(6) 展示団体負担金の減額

展示団体の申込者が、当協会の賛助会員である場合、展示団体負担金を一万円減額します。

(7) 申込期間・方法

出展申込書(別紙)に必要事項をご記入の上、協会あてご提出願います。

申込期間は、2017年6月1日から2017年8月31日の間とします。(必着) 出展の可否につきましても、協会理事会において審査・選定作業を行った上で、1か月後を目処に決定し結果をご連絡致します。

(8) お問い合わせ・申込み先

協会は限られた人的資源で運営されていますので、本事業に申し込まれる方は原則として電子メールによる日常的な連絡・調整に支障のない方に限ります。また、本事業の実務は全て協会が担当します。会場となる郵政博物館への直接のお問い合わせはできません。

(9) 2年連続して開催する展示団体の優遇

2年連続して開催する展示団体が前年と同時期の展示を希望する場合は、他の展示団体より優先的に開催時期を割りあてます。但し主催者行事が入る場合は、優遇致しかねます。

・連絡先Eメール info@kitte.com

・郵送物等の送付先 〒102-0083 海事ビル内郵便局留置

特定非営利活動法人 郵趣振興協会 郵博特別展係

以上

(提出用 3の1)

申し込みにあたっては全3枚を提出してください

郵政博物館 御中

特定非営利活動法人郵趣振興協会 御中

2018年度 「郵博 特別切手コレクション展」 出展申込書

わたくし(ども)は、標題の募集要項の内容を了解し、ここに出展申込を行います。
出展決定後は展示団体負担金を2018年2月28日までに納付完了することを誓約いたします。
なお記載内容に虚偽があった場合や負担金未納の場合には出展決定が取消となる旨了解しました。

日付 _____ 署名 _____

1. 申込者について

氏名

_____ *申込者が法人の場合は代表者の氏名を記載してください。

展示団体名 (グループ・団体の場合)

住所・所在地・通信先 〒 _____

_____ *局留、私書箱を通信先に記載する場合は別途、住所・所在地を記載してください。

日中連絡がとれる電話番号 (携帯可)

日常の連絡調整用のEメール

2. 展示団体および展示テーマについて

展示団体の属性 (該当箇所)

個展 (展示団体は申込者1名のみ)

グループまたは団体展 (グループの構成人数 _____ 名)

その他 (詳しくご記載下さい _____)

展示テーマ (該当箇所)

伝統郵趣の特定分野 (_____)

郵便史の特定分野 (_____)

テーマティックの特定分野 (_____)

その他の特定分野 (_____)

上記以外 (_____)

(提出用 3の2)

申し込みにあたっては全3枚を提出してください

3 会期および設営日の希望について

本ページ下部の表は、2018年度中に開催できる月の一覧です。4月、12月以外は、複数の週末を開催候補として検討することが可能です。

展示団体の意向をお聞きした上で、他団体の切手催事の情報を提供し、貴展示団体の集客が失敗しないような相談に応じたいと考えております。

表をご覧ください、現時点で想定される希望会期についてご記入ください。(複数可) 該当月の開催可能日や、判明している当該期間の他団体の催事予定を電子メールで案内いたします。希望理由や背景を教えてください、よりの確に相談に乗ることができます。

現時点では、

月の開催を希望します。

年月	選択できる会期が一つだけの月の候補日程	複数の週末から開催期間を希望できる月
2018年4月	4/20-22 (金土日)のみ	
2018年5月		○
2018年6月		○
2018年7月		○
2018年9月		○
2018年10月		○
2018年11月		○
2018年12月	12/22-23のみ	
2019年1月		○
2019年2月		○
2019年3月		○

設営(準備)について(該当箇所)

- 原則通り、会期初日朝(10時から午後1時まで)に行う
- 会期の前日(営業日)の午後に行いたい
- まだわからない

(提出用 3の3)

申し込みにあたっては全3枚を提出してください

4. 展示に参加するコレクションオーナーについて

展示に参加するコレクションオーナーが、すでに決定している場合は、付随情報と共にご記入ください。参加未確定のコレクションオーナーについては、(予定)とご記載ください。

	コレクションオーナー名	作品名 (フレーム数)	会期中の会場滞在予定
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			

5. その他

申込に際して伝達しておきたい事柄があれば、以下にご記載ください。

以上